

雄武地域マリンビジョン かわら版

このかわら版は、雄武町における水産業を核としたまちづくり（地域マリンビジョン(以下MV)※）について、活動内容を皆様にお知らせするため発行しております。

良いものを効率的に ～ホタテ稚貝放流～

ホタテ稚貝の放流作業が各漁港にて行われました。

本年度は、平成24年度から導入が進められることになった健康な稚貝放流を行うためのコンベアー機がホタテ稚貝養殖漁業者の一部で稼働をはじめ、付着物の除去、規格外品の選別、陸上作業の効率化が図られました。

放流作業は、5月20日から6月3日の期間に行われました。



付着物を取り除き、3.5cm以上に選別されたきれいな貝です。

採苗器の準備の様子(幌内港)



採苗器投入も同時進行！

地場産のホタテ浮遊幼生を付着させるための採苗器の投入が5月25日から行われました。海中に設置された採苗器は、ホタテ稚貝が6mmに成長する8月中旬頃に引き揚げられ、その後養殖籠に移された稚貝は、来春まで再び海で育成されます。



快晴！アサリ掘り体験 ～春季めだか塾～

あさりの寿命は？

久しぶりの快晴となった5月26日、春季めだか塾が開催されました。

潮の引いた時間に合わせ、町内小学生らが磯遊びやアサリ掘りを体験！昼食は、手作りシーフードカレーを食べながら地元漁師さんの講演も行われました。



漁師さんの講演の様子

※地域マリンビジョンとは？

北海道開発局においては、明日の活力ある北海道水産業の将来像を「北海道マリンビジョン21」として示しています。雄武町では、「北海道マリンビジョン21」に示された主旨に賛同し、H17年度より「雄武地域マリンビジョン」の検討を進めており、平成19年12月にモデル地域に指定されました。



次の世代へつなげたい！

保護河川である幌内川流域は、魚などの生息環境を守る必要性の高い地域として、北海道から「北の魚つきの森」の認定を受けています。平成23年度には幌内ダムの改修に合わせて魚道が整備され、サケの上流域への遡上が可能となるほか、町では翌年から河川沿いの森林整備を実施、今年は住民参加の植樹会(写真上)も開催しています。また下流域では、漁協主催の植樹活動(写真下)が毎年継続されており、環境に対する意識が広がっています。

【みどりと親しむ町民のつどい】参加者 61名 植樹数 800本 (5/26)



【お魚を殖やす植樹運動】参加者 160名 植樹数 2000本 (6/4)



ありがとう ~35年の感謝を込めて~



第35回記念大会 雄武産業観光まつり

毛ガニ、ホタテ等特産品の割安販売、カニ汁、カニカレー、おうむの浜焼きなどの特別メニュー販売、各種ステージショー etc. 雄武町の夏を彩るビックイベント開催決定！！

- ・日時 【前夜祭】 6/29(土) 17:30~
※花火大会は20:30を予定
- 【本祭】 6/30(日) 9:00~
- ・場所 ふるさと100メモリアル広場



意見・感想など、ご遠慮なくお寄せ下さい。



海へ放流されたホタテ稚貝は、その後も成長を続け、3年後に水揚げされます。

【編集・発行】

雄武地域マリナビジョン事務局

【お問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係

Tel 0158-84-2121 Fax 0158-84-2844

mail sangyo@town.oumu.hokkaido.jp